



中期経営計画(連結)

(平成17年度～平成19年度)

説明資料

日本フェルト株式会社

(3512 東証第1部)

代表者名	取締役社長	山本 洋一
問合せ先	経営企画室長	清水 俊雄
(TEL.	03 - 5993 - 2030)	



目 次

. 当社と製品の概略説明

- P 3 . 主要な販売品目、 本社・工場・関係会社
- P 4 . 抄紙用製品について
- P 5 . 抄紙用フェルトに求められる機能
- P 6 . フェルトの製造工程

. 中期経営計画について

- P 7 . 中期経営計画の要旨
- P 8 . 国内抄紙用フェルトの概況
- P 9 . 経営環境の認識と経営戦略 **【国内抄紙用フェルト】**
- P 10 . アジア・中国市場の概況 **【紙・板紙需要予測、抄紙用具売上予測】**
- P 11 . 経営環境の認識と経営戦略 **【国外抄紙用具】**
- P 12 . 経営環境の認識と経営戦略 **【工業用資材】**
- P 13 . 連結経営目標
- P 14 . 中期販売計画 **【国内抄紙用、国内工業用、国外抄紙用他】**
- P 15 . 国内工業用フィルターの中期販売計画
- P 16 . 生産性の向上 **【グループ人員の推移】**
- P 17 . 連結経営指標の推移 **【売上原価率、経常利益】**
- P 18 . 連結経営指標の推移 **【ROE、ROA】**
- P 19 . キャッシュフロー
- P 20 . 設備投資の概略



主要な製造・販売品目

紙パルプ用製品

製紙会社向け製品】

- 抄紙用フェルト
- 抄紙用ワイヤー
- 抄紙用ベルト・カンバス

工業用製品

各種産業用製品】

- ・ニードルフィルター (集塵機用)
- ・スレート用フェルト (住宅建材用)
- ・耐熱フェルト (アルミ押出機用)
- ・その他一般工業用フェルト

本社・工場・関係会社

本 社	東京都北区	
埼玉工場	埼玉県鴻巣市	ニードル 仕上工程
栃木工場	栃木県那須郡	機織工程
吉川工場	埼玉県吉川市	フィルター ニードル 仕上工程
日本フェルト商事(株)	東京都北区	営業活動
東山フェルト(株)	岩手県東磐井郡	紡績 機織 縫整・ニードル工程
ニップ縫整(株)	埼玉県鴻巣市	織整 縫合工程
台湾フェルト(株)	台湾 桃園県	機織・ニードル 仕上工程



抄紙用製品について

ワイヤーが使われます

ワイヤーパート

[紙シートの形成]
99%以上の水と1%以下の紙繊維で構成された原料が、網状のフォーミングワイヤー上に噴出されて脱水されながら紙シートの形成が行われます。

フェルトとベルトが使われます

プレスパート

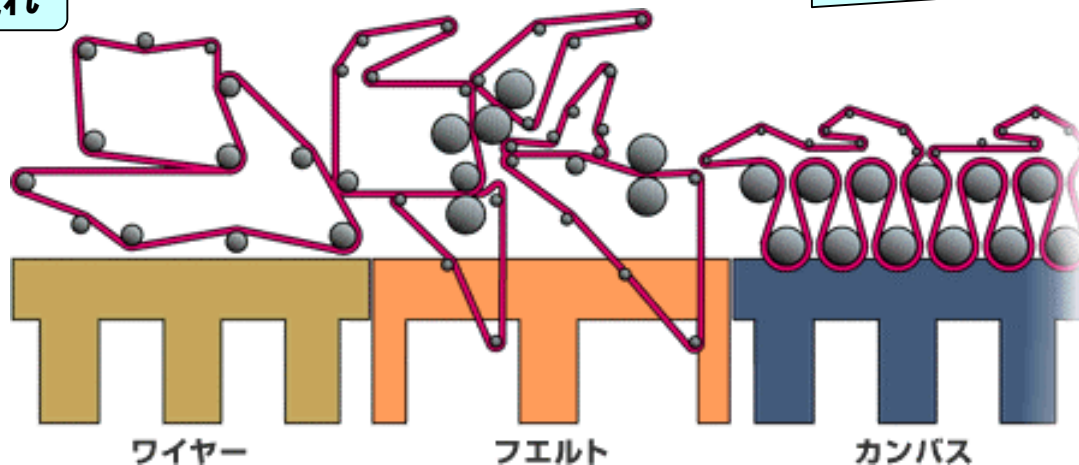
[紙シートの脱水]
ワイヤーパートで脱水された紙シートは、フェルト上で運搬されながらロールで加圧され、さらに脱水が行われます。

カンバスが使われます

ドライヤーパート

[紙シートの乾燥]
紙シートはさらにカンバスにより運搬され、蒸気が注入された多くのシリンダーにより加熱され乾燥されます。

紙の流れ





抄紙用フェルトに求められる機能

紙を抄くのに欠かせないのが抄紙用フェルトです。

毎分2,000m (時速120 km) 以上の高速回転をしている抄紙機で、わずか0.1ミリの薄さの紙からキズ一つ付けずに水分を吸収 除去します。

搾水性

湿紙から できるだけ水分を搾り取る機能

紙面性

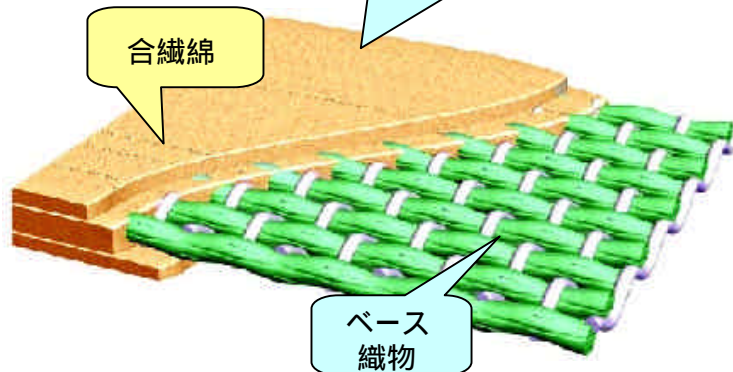
湿紙の表面をできるだけ平滑にする機能

運搬性

湿紙を損なわないように運ぶコンベア機能

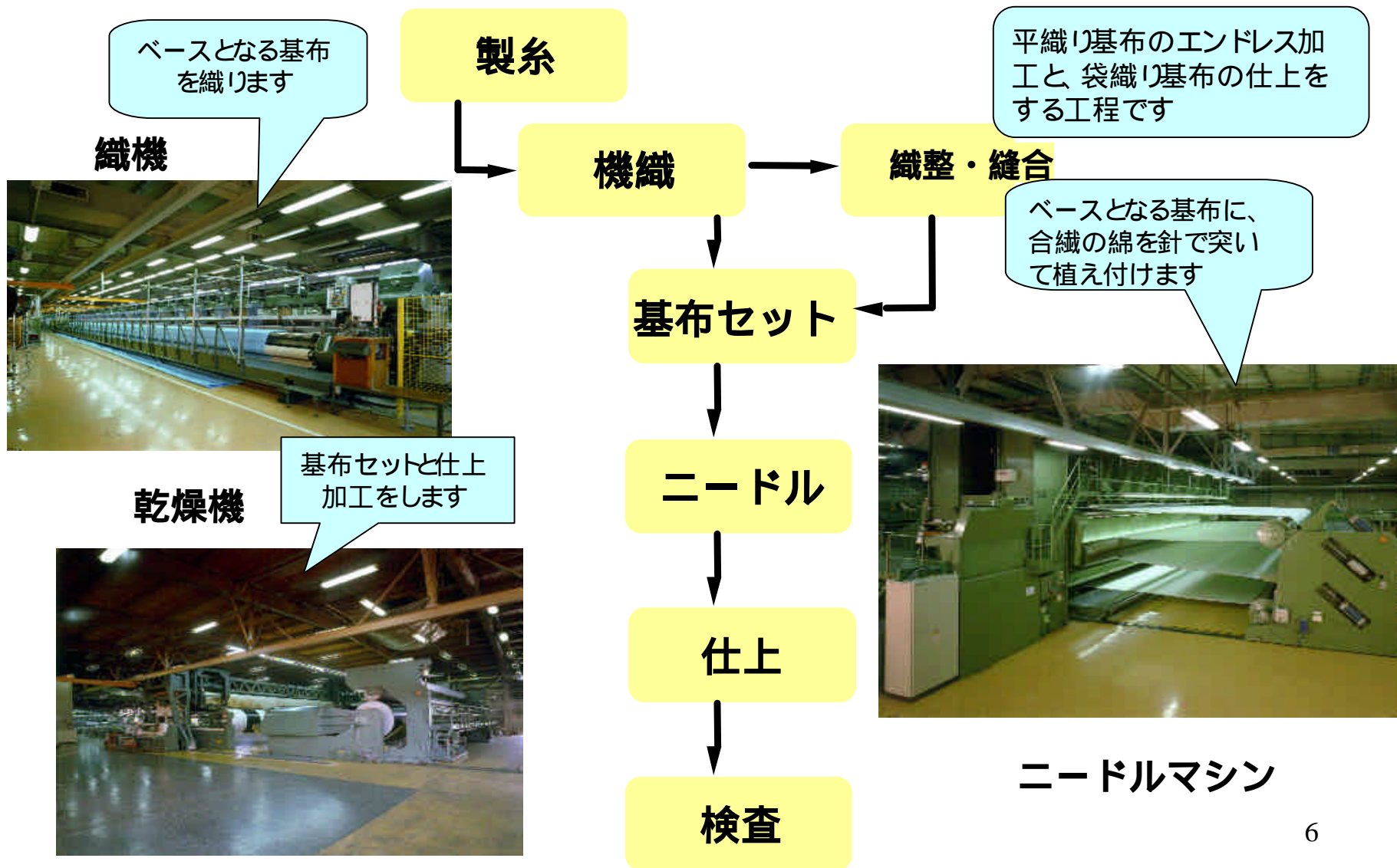
フェルトの構造図

ベースとなる織物に合繊綿を乗せて、針で突き固めています。





フェルトの製造工程





中期経営計画の要旨

コア事業の中核であるフェルトの国内需要は頭打ちで厳しい経営環境であることを認識しつつ、コア事業の基盤強化および新たな成長戦略を進めながら、積極的に株主に報いるとともに、世界のフェルトトップメーカーを目指す。

1. 事業基盤の強化を目指した効率的生産体制の確立

フェルト事業に関しては、ますます高度化するユーザーのニーズに応えて、国内50%超のシェア獲得を目指すと共に、生産効率化投資によるスクラップアンドビルトを推進し、生産性向上を図る。また、工業用資材（ニードルフィルター）の拡販に対応するための、生産増強投資を行う。

2. アジア市場に対応する海外戦略の推進

アジア・中国市場での拡販を図るため、台湾子会社を日本フェルトグループの海外拠点として位置付け積極的な設備投資を行う。

3. 株主価値の向上

株主価値向上諸施策を継続的に検討しながら、より積極的に株主重視の経営に取り組み、株主還元策を推進する。

本年度末の配当は8.5円への増配を行い、中期的には配当性向50%を意識した配当政策を検討する。

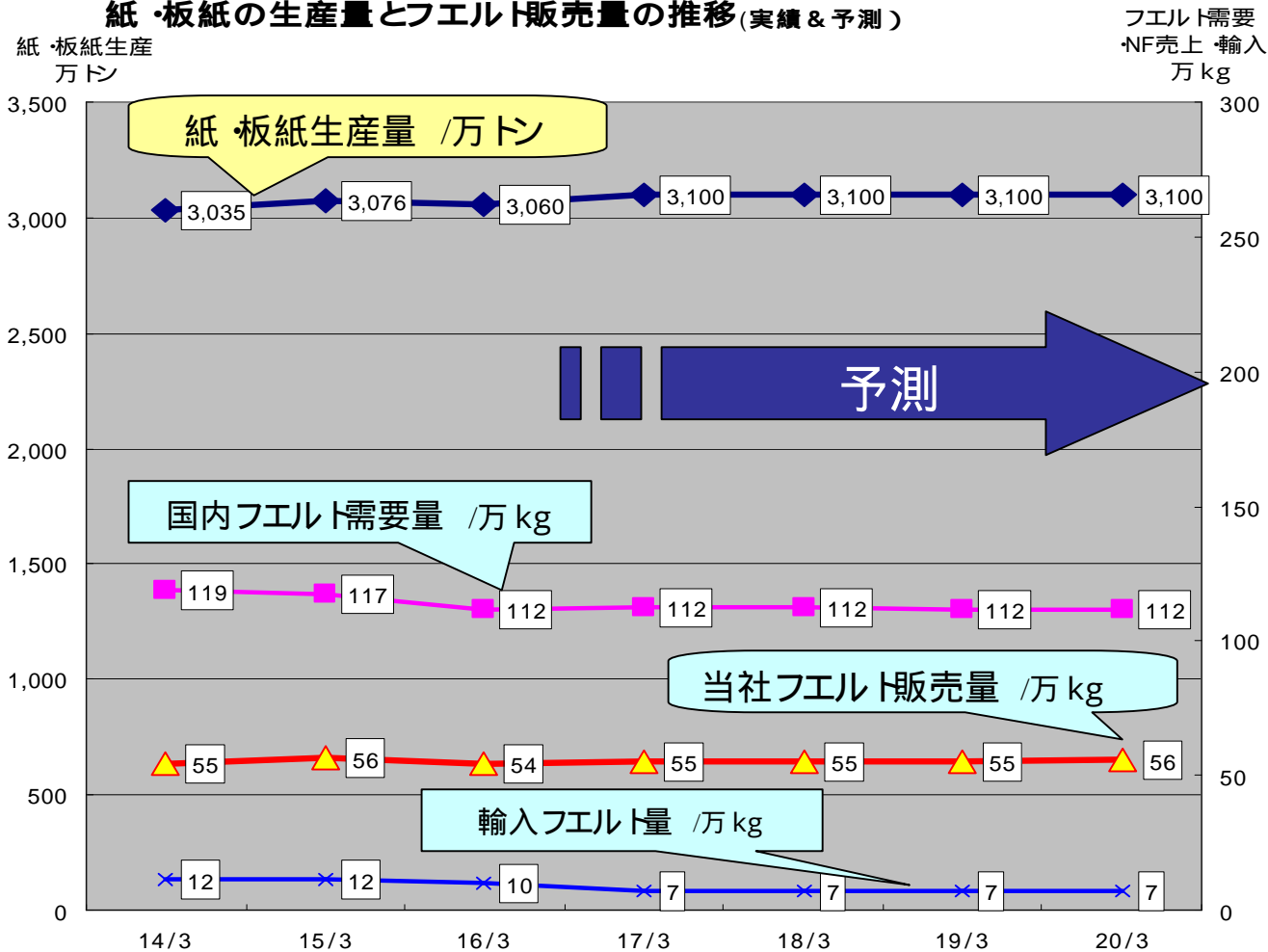


国内抄紙用フェルトの概況

紙・板紙の生産量はほぼ横這いで推移し、フェルト需要量は頭打ちが予想される。

輸入フェルトのシェアは引続き低水準で推移すると予想される。

紙・板紙の生産量とフェルト販売量の推移(実績 & 予測)





経営環境の認識と経営戦略

抄紙用具

国内抄紙用フェルト

国内需要は頭打ち

安定収益基盤の確保

国内事業基盤を確固たるものにする
 一層の品質対応によるシェアの向上
 シェア50%超獲得
 新製品 新技術 サービスの強化
 生産性向上投資によるコスト競争力強化



製紙業界の再編

シェア向上が必須

厳しい競争

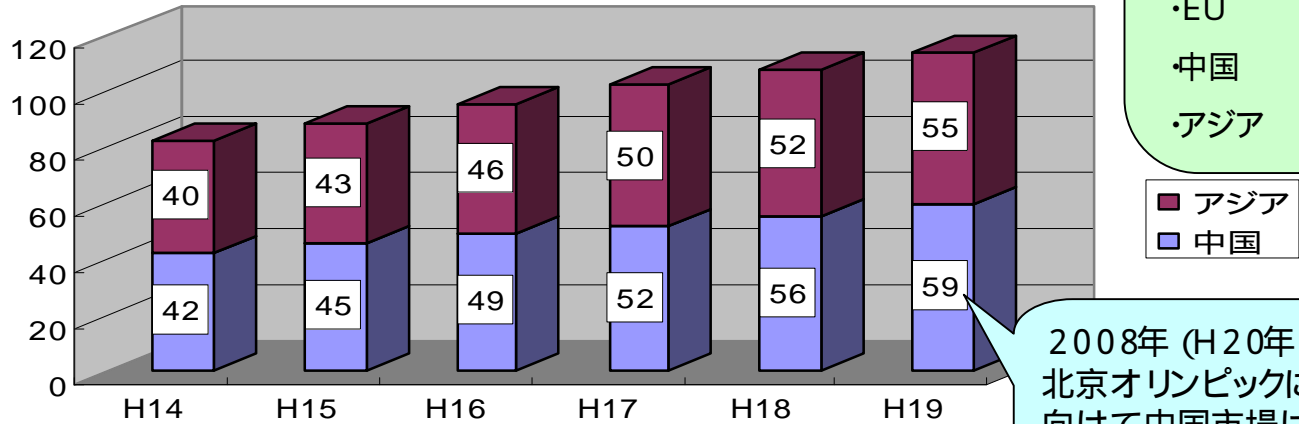
国内 2社で市場を2分

・自社開発製品の研究強化
 抄紙用製品等の次期素材の開発



アジア・中国市場の概況

アジア・中国の紙 板紙需要実績・予測



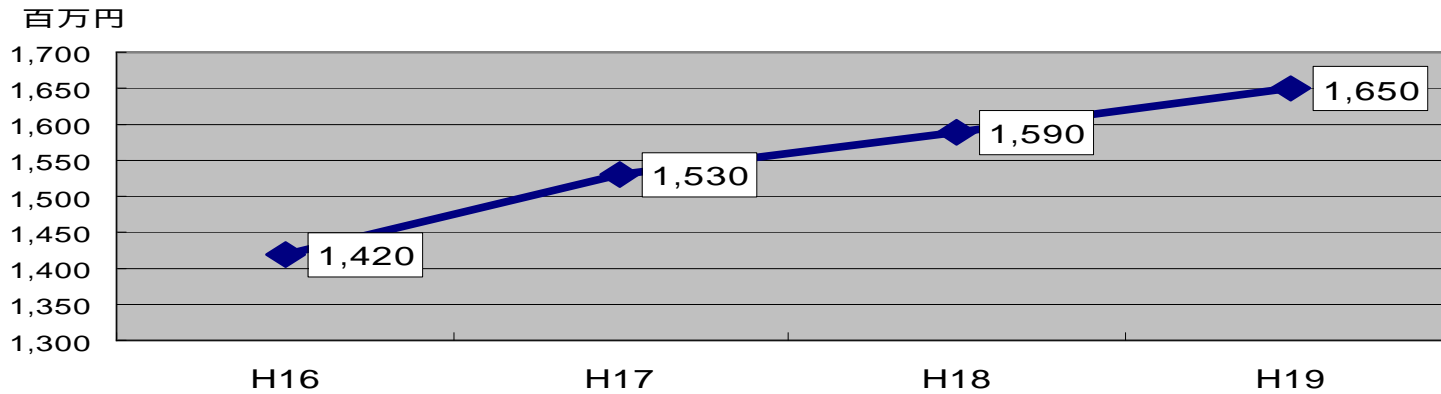
一人当たり年間紙使用量
(2003年データ)

- ・アメリカ 301 kg年
- ・日本 243 kg年
- ・EU 199 kg年
- ・中国 36 kg年
- ・アジア 29 kg年

2008年(H20年)北京オリンピックに向けて中国市場は拡大(その後も成長)

アジア 中国はまだまだ拡大余地のある市場

アジア・中国市場向け 当社グループ売上の推移予想





経営環境の認識と経営戦略

抄紙用具

【国外】

拡大するアジア・
中国市場

台湾の機織・仕上工程の
既存設備は生産余力があ
るがニードル工程は生産
能力不足

安い市場価格

成長市場に向けた事業展開

- 台湾フェルトの生産体制強化
- 台湾フェルトの100%子会社化

国内生産では
コストが高い

中国への工場建設検討

タムフェルトとの連携による
アジア戦略の推進

高額なフェルト製造設備
による巨額な償却負担

台湾は既存設備の有効利用が可能
安い労務費、諸経費
低いカントリーリスク
営業活動がスムーズに対応できる

中国への新規投資では採算が合わない！



経営環境の認識と経営戦略

工業用資材

ニードルフィルター

成長市場

3年後は20%の成長が見込まれる。
ダイオキシン規制への市場対応

吉川工場(フィルター専用工場)の活用

より高い精度を要求される「フェルト製造ノウハウ」の転用が可能

高い当社技術力
高い生産能力
新素材の活用

新規開発製品および新素材高耐熱フィルターの拡販
生産設備の増強と、コスト競争力の強化
市場シェア30%以上獲得



ダイオキシン規制により、フィルターを利用しない電気集塵機から、高耐熱フィルターを利用するバグ集塵機への転換が進む

その他工業用製品

不採算製品の存在

・コストダウン対応の強化

・不採算製品からの撤退

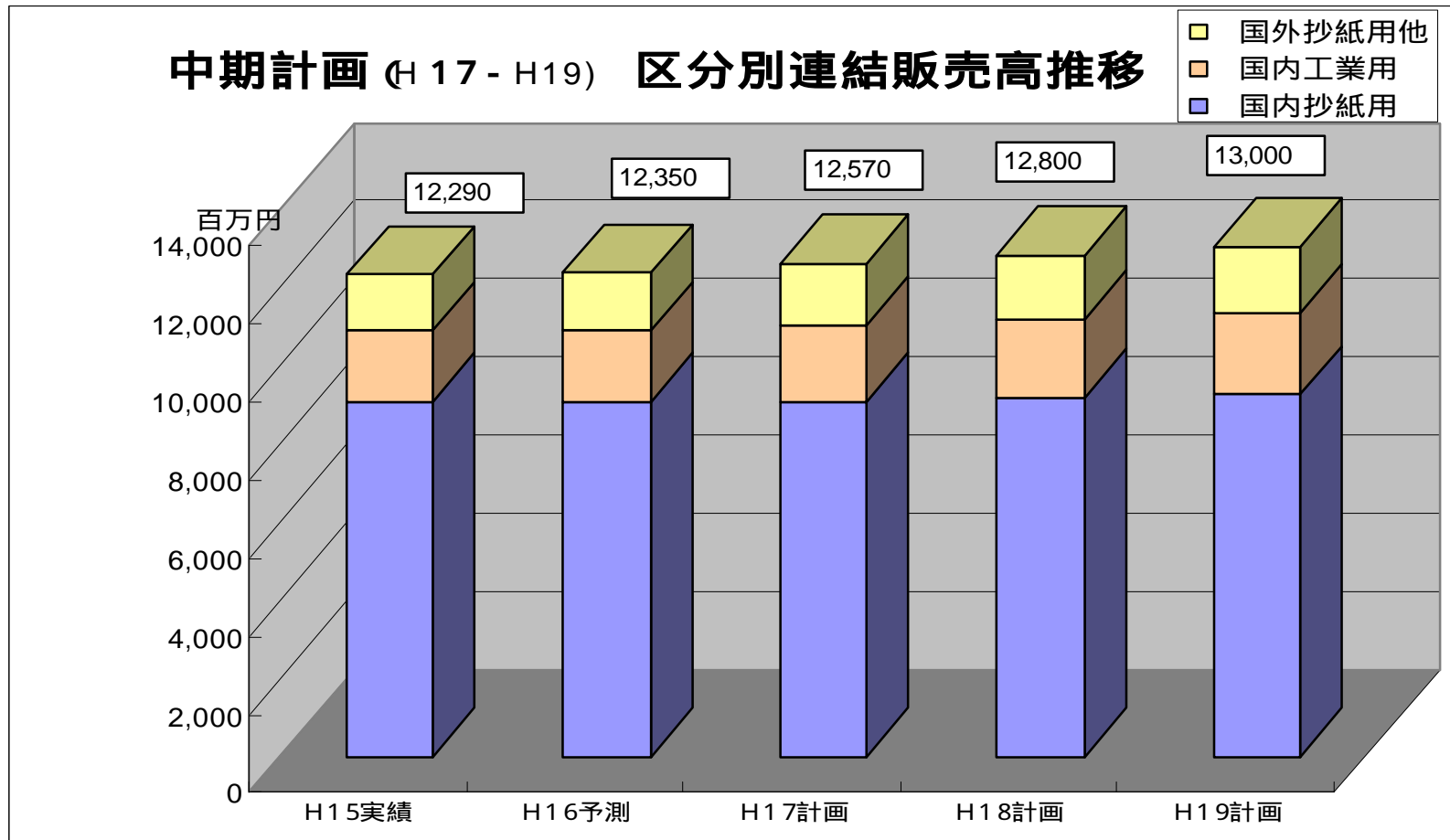


連結経営目標 (平成17年度～平成19年度)

	H16年度予測	平成19年度目標	考え方
売上高	123億円	130億円以上	国内抄紙用はもとより工業用および輸出品の拡販に注力する
売上高原価率	67.1%	67%以下	生産性向上によるコストダウン効果を最大限に発揮させる
経常利益	12億円	15億円以上	企業価値向上のために確保する
ROE	4.6%	5.5%以上	効率的な資本構成を構築する
ROA	2.7%	4%以上	総資産の圧縮を推進する



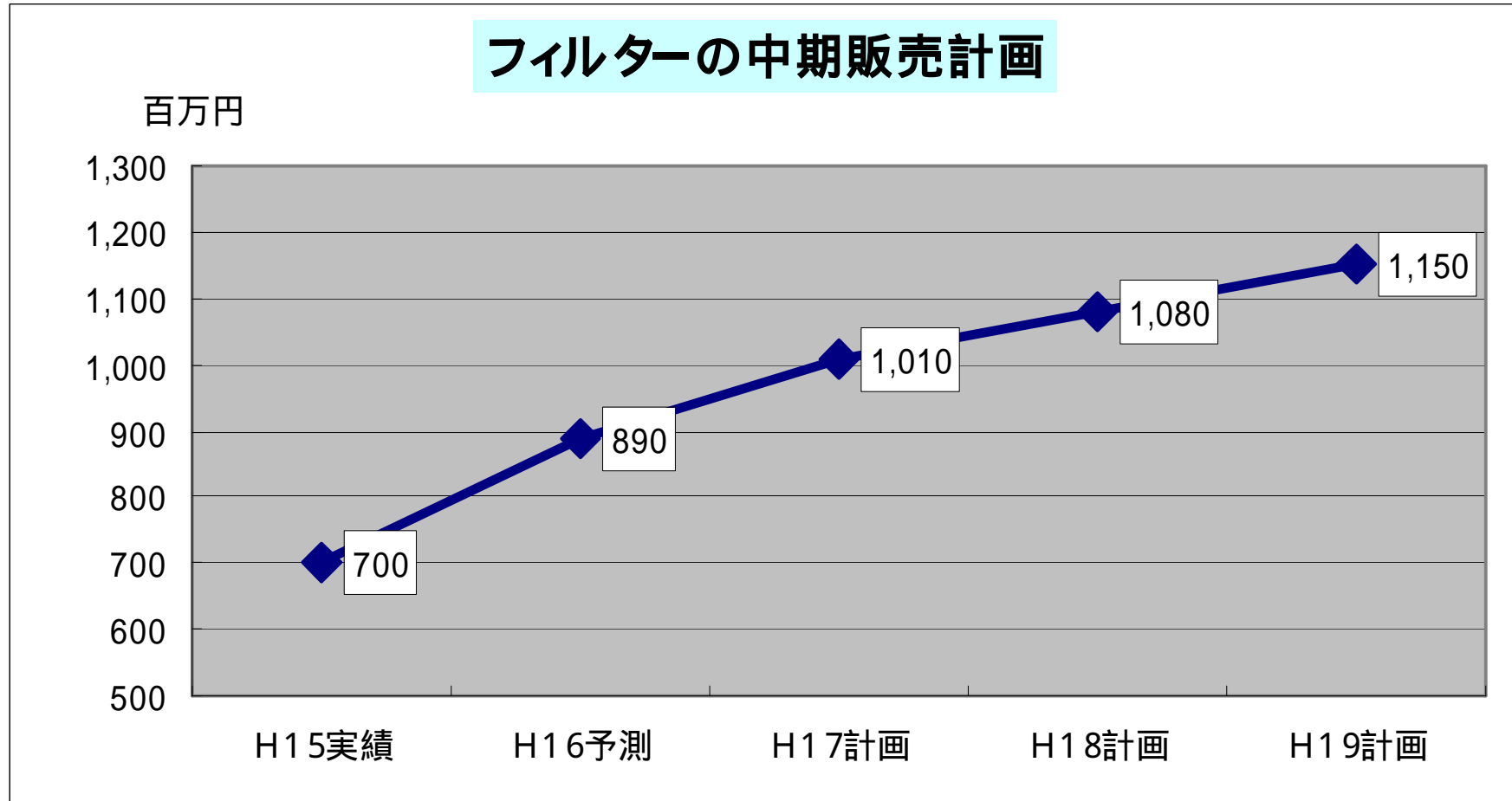
中期販売計画



H16年度(予測)123億円 H19年度目標 130億円以上



国内工業用フィルターの中期販売計画





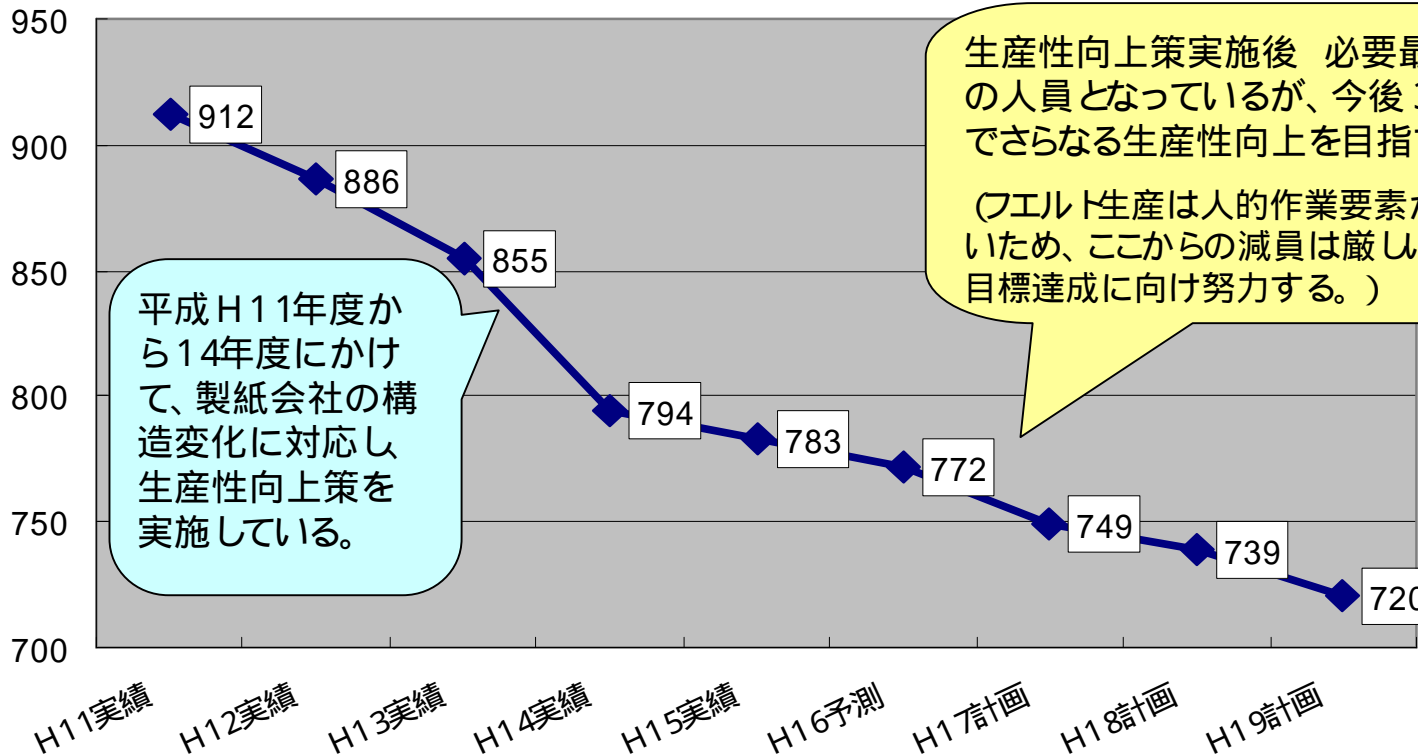
生産性の向上

効率化投資による生産性向上における
コストダウン効果 300百万円

その他のコストダウンは、
原燃料と変動費で100百万円

グループ人員の推移

人数(人)



平成H11年度から14年度にかけて、製紙会社の構造変化に対応し生産性向上策を実施している。

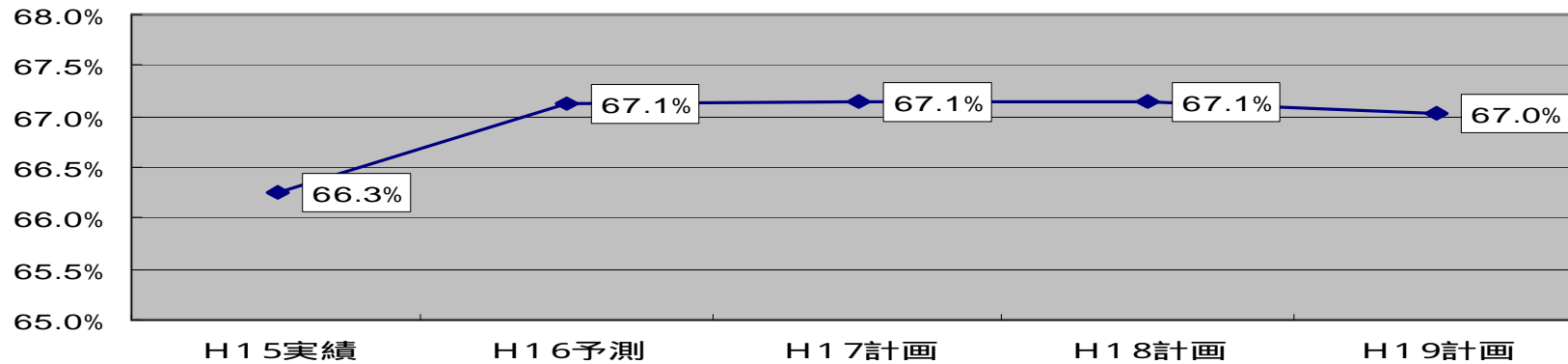
生産性向上策実施後 必要最低限の人員となっているが、今後3年間でさらなる生産性向上を目指す。
(フェルト生産は人的作業要素が大きいため、ここからの減員は厳しいが、目標達成に向け努力する。)

H19年度末にH16年度末比 人員 7%減目標



連結経営指標の推移

売上高原価率の推移



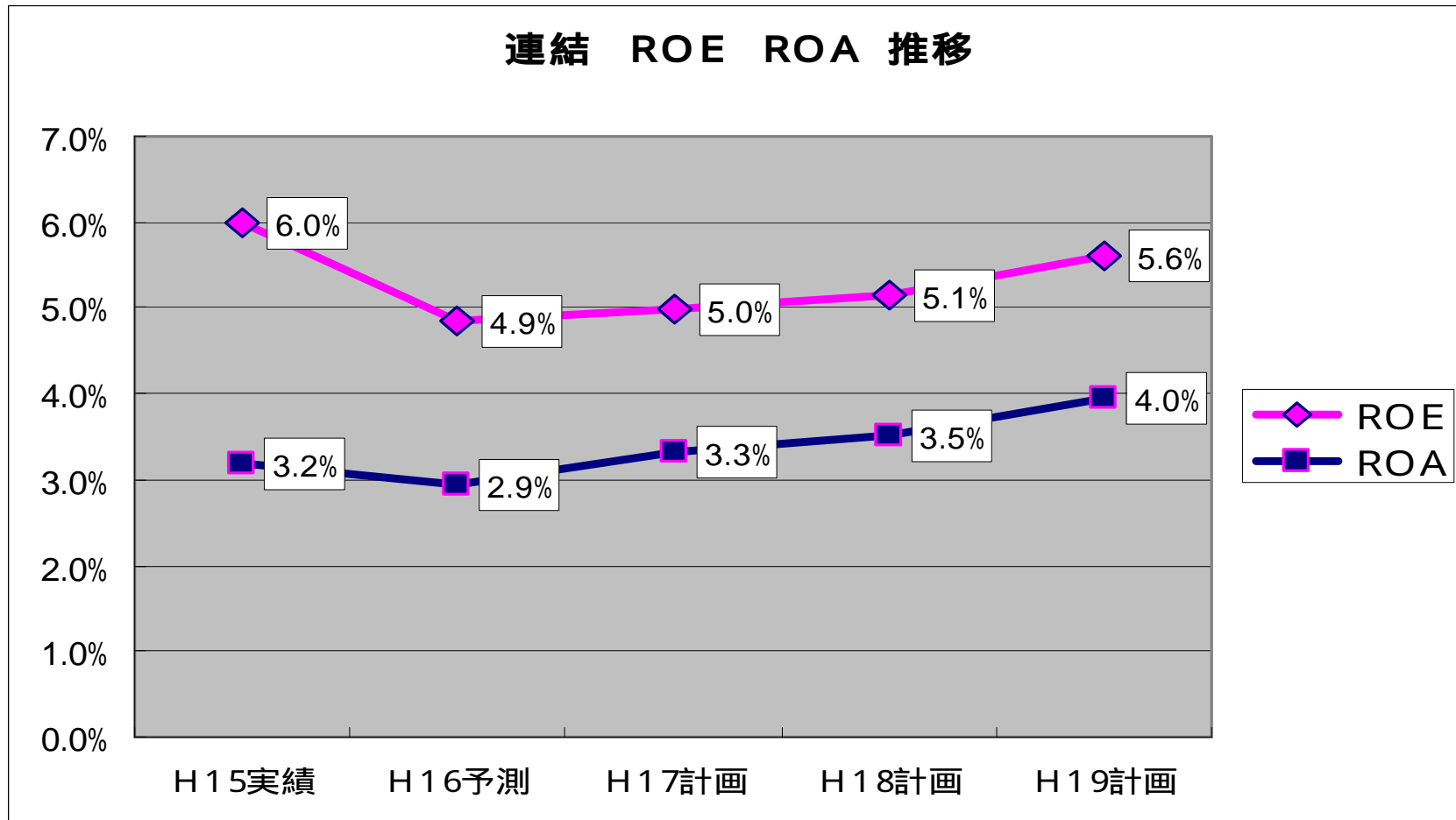
経常利益の推移



H19年度目標 売上高原価率 67%以下、 経常利益 15億円以上



連結経営指標の推移



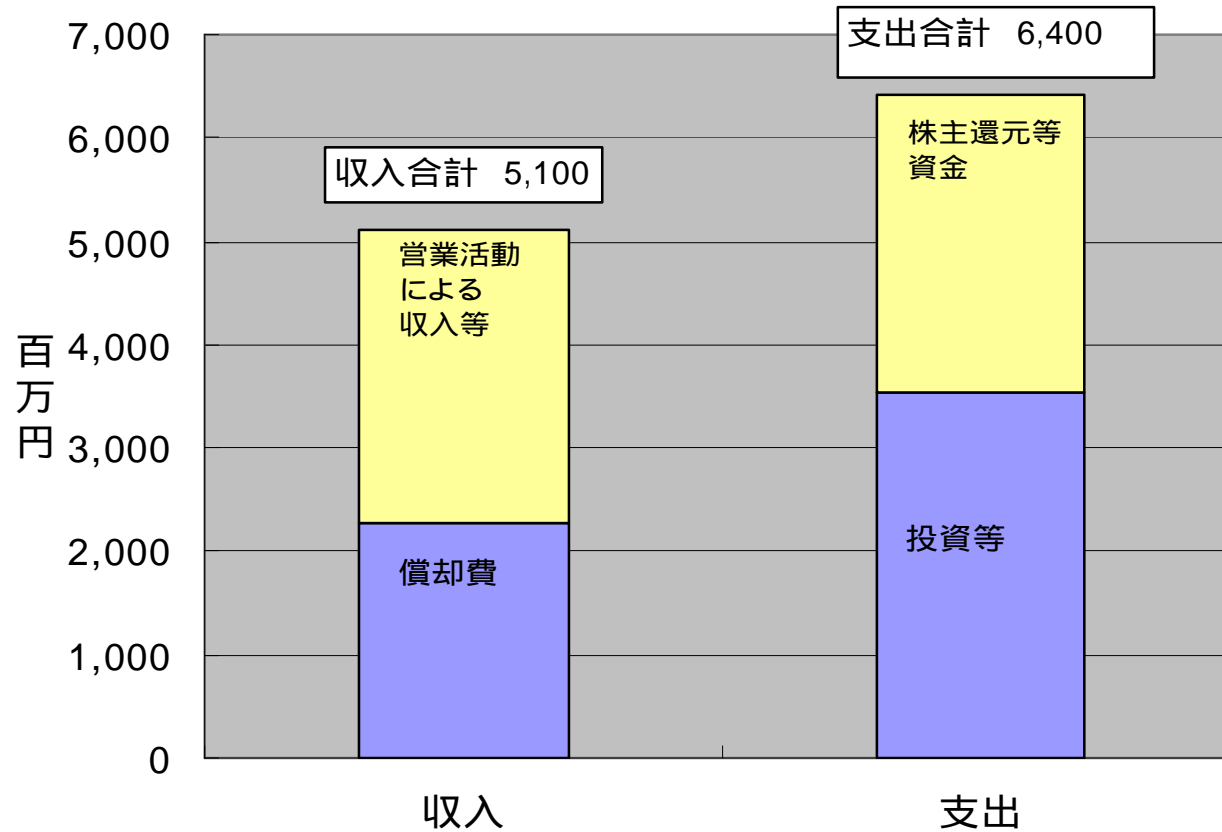
H19年度目標 ROA 4%以上、ROE 5.5%以上



キャッシュフロー

キャッシュフローの減少 1,300百万円

連結中期キャッシュフロー (平成17年度～平成19年度)





設備投資

3年間の設備投資合計 3,130百万円

主な生産性向上投資

国内

抄紙用 ニードルマシン新設	670百万円
抄紙用 織機新設 改造	290百万円
・フィルター用 生産ライン強化	150百万円
・その他生産効率化投資	120百万円
計	1,230百万円

台湾

抄紙用 ニードルマシン新設 2台	1,000百万円
織機改造等 効率化投資	100百万円
計	1,100百万円